

注目! まちの話題

市内の中学校で4月6日、小学校で4月7日に、それぞれ入学式が行われました。今春の新生は中学校1,217人、小学校1,155人。期待と不安が入り混じる中、新生活をスタートさせました。

古河第一小学校では、53人の1年生が入学。校長先生の「人の話をよく聞いて何ごとも頑張ってください」との話を、真剣な表情で聞いていました。

皆さん、友だちをたくさん作って、勉強も遊びも精いっぱい頑張ってください。実りある学校生活になるといいですね。

皆さん、友だちをたくさん作って、勉強も遊びも精いっぱい頑張ってください。実りある学校生活になるといいですね。



▲少し緊張した様子の新1年生たち。楽しく過ごして、充実した未来を切り開いていきましょう

高齢者等見守り活動に関する協定を締結



▲市と協定を結んだワタミ株式会社東北・北関東支社の太幡竜一支社長(右)

市は3月24日、ワタミ株式会社古河営業所(東山田)と「高齢者等見守り活動に関する協定」を結びました。協定は、日常業務で市内の高齢者等のいる世帯を訪れた際、何らかの異変に気付いた場合、市に連絡するなどの内容になっています。

古河市における高齢者のひとり暮らしまたは高齢者のみの世帯は、約1万800世帯(平成27年度国勢調査)にのぼり、年々増加傾向です。今後も民間企業・団体等と協定を結び、誰もが住み慣れた地域で安心して、暮らし続けられるまちづくりを目指します。

会社の未来を担う社員のご活躍を期待しています



▲不安と期待を胸に、社会人への第一歩を踏み出しました

4月11日、とねミドリ館(生涯学習センター 総和)で「平成29年度新規学卒者合同受入歓迎会および優良従業員表彰式」が行われました。

この式典は、市内の事業所に入社した新規学卒者を激励するとともに、職場の模範となっている永年勤続者を表彰し、雇用の安定と従業員の士気の高揚を図ることを目的に行われています。

新規学卒者252人(46事業所)には記念品、126人(57事業所)の優良従業員には表彰状と記念品が贈呈されました。